

## 水土里レポート

投稿月日	平成30年7月23日(月)
タイトル	狩込みどじょうこ会・四区町環境保全会 ジャガイモの収穫と生き物調査
水土里レポーター名	水土里ネット那須野ヶ原

平成30年7月15日(日)、栃木県那須塩原市四区町において、ジャガイモの収穫と生き物調査を行いました。四区町公民館には、幼児から小学校6年生まで20名ほどの子どもたちが、保護者と共に集合。関係者合わせて約50名が集いました。今年は例年よりも梅雨明けが2週間以上早く、この日も30度以上になる天気予報で、指導者の方から作業の説明と帽子や飲み物など暑さ対策をしっかりするよう指導を受けての活動となりました。

始めに、ジャガイモの収穫をしました。ジャガイモは男爵ときたあかりの2種類あり、2列に分かれて収穫が始まりました。手で土を掘って行くと大きなジャガイモが次から次へゴロゴロと出てきました。小さな子供達は手で土を掘る作業は大変そうでしたが、皆で力を合わせ



男爵約95kg、きたあかり約80kgを収穫できました。

次に水分補給の休憩をしてから、前日に田んぼ脇のピオトープに仕掛けておいた、ウケを引き上げて生き物調査をしました。ウケの中に入っていたドジョウは約80匹程度でした。その他、ウケの中に入っていた生き物は、メダカやヤゴ、カエル、かじかの稚魚などが入っていました。暑い日差しの中、冷たい水路でウケを回収する子供たちはとても楽しそうにいました。最後に観察が終わった生き物たちは、生態系を守るために元のピオトープへリリースしました。

観察のあとは、「こじはん」の時間です。おにぎりとき



ゆりの漬け物、カボチャの煮物が用意されました。

田んぼの学校の圃場のそばにある木陰にブルーシートを敷き、輪になって食べるご飯は格別でたくさん用意していただいたおにぎりもあつという間になくなってしまいました。

水土里ネット那須野ヶ原では、今後も、未来の農業を支えるためには何が必要なのかをさまざまな視点から考え、積極的に田んぼの学校など支援していきたいと考えています。

